

長岡技術科学大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. 支援物資の提供

被災地へ提供可能な支援物資リストを作成し、要請があった場合、速やかに支援できる体制を整備した。

2. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社 他	168,682	学内教職員、学生

3. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

（1）入学志願者への措置

【入学検定料の全額免除】

入学志願者又は入学志願者の学資負担者が被災地域に居住し、かつ、その者の家屋が被害を受けた場合は、平成28年度に実施する入学者選抜試験に係る入学検定料の全額を免除

【入学料の全額免除】

平成29年度入学者又は入学者の学資負担者が被災地域に居住し、かつ、その者の家屋が被害を受けた場合は、入学料の全額を免除

（2）在学生への措置

【授業料の半期分全額免除】

学資負担者が被災地域に居住し、かつ、その者の家屋が被害を受けた場合は、平成28年度授業料の半期分の全額を免除

http://www.nagaokaut.ac.jp/j/news/o_160427.html

4. 研究活動

・池田教授は、東京大学及び横浜国立大学の研究者とともに震源地域（益城町、西原村、大津町、南阿蘇村、阿蘇市他）において、被害調査（一次調査4月16日～17日、2次調査4月22日～24日）を行い、4月27日の土木学会速報会及び5月12日の土木学会報告会において調査結果を報告した。また、8月30日の地盤工学会第1回ジオテクセミナーにおいても報告予定。

・上村教授は、熊本高等専門学校教員とともに熊本市、益城町、西原村、八代市等の被災状況及び各地の避難所の状況を調査し、被災地の教育機関の果たすべき役割等について意見交換を行った（4月30日～5月2日）。

・松田准教授は、熊本大学（減災型社会システム実践研究教育センター・政策創造研究教育センター）の研究者とともに御船町・西原村・益城町・熊本市南区の避難所とボランティアセンターを中心に現地調査を実施した（4月29日～5月3日）。また、チーム中越（新潟県長岡市の災害支援民間団体）と協働で現地民間支援団体での避難所支援活動について支援メニューの検討を行った（5月20日～23日、6月29日～7月2日）。

5. その他

- ・文教施設応急危険度判定士派遣候補者として、本学職員2名登録（4月21日）
（九州地方の地方公共団体等から派遣要請があった場合に派遣）

